

親愛なる兄弟姉妹に訴ふ!!

私共は東洋四貫島工場にて、二千七百人の従業員は、今日、冷血が採葉効率といふ美名の下に一文の解雇手當も出さず無理にて、女工手を強制的に拘はし、男工手を無理に轉部させし、更に請負歩合にて引き取る。私共を苦しめ無理苦せし母子、夫婦、長老、老弱にて來る者甚だ、辛抱が出來ななり遂に本年十一月十七日に全男女工場にて、七百人、解雇して、

(狀願書の重なるもの)

△強制歸國、強制轉部給付反對

△解雇手當、退職手當制定

△日給、請負工賃の増額

△病院の改善

△寄宿舎の改善

△外出自由、強制送金貯金反対

二十二條による狀願書を會社に提出して、おとなしく作業をつゞけて居たに拘はらず會社は何等誠意ある回答をなさず全部拒絶したので私共は改めて、要求書として會社に提出して解答を待つてゐますと、之れ又全部無情にも拒絶して此の上優良職工七十人を解雇したのであります。

諸君より、東洋一と誇る東紡の此の殘虐、此の冷血、非道の暴冷を見よ！彼等は永久に年二割五分も二割八分の配當を此の不景氣に保持せんために、正當なる要求を無視し、可憐な女工手を暴虐監禁し、吾等に餓死と失業を強制してゐるではないか！

東紡四貫島工場の争議を應援せ

吾等二千七百名の四貫島工場全従業員は此の暴虐に對し、此の冷血、無情の行動に決然と二十日總罷業を斷行し、彼等資本家を吾等の足下にふみにじり、五箇の要求の貫徹するまで決死的覺悟と奮闘を以つて鬪争をつゞけて行く決心だ！

おゝ親愛なる東紡の兄弟姉妹諸君よ！

此の争議の勝敗は實に諸君の頭上にふりかゝつて居る。明日の生活！明日の食事！明日の病氣！に直接影響あるのだ。四貫島工場二千七百人の兄弟姉妹は今、生死の戦に奮闘してゐるのだ。同じ工場同じ會社の従業員の此のストライキを對岸の火災視にすな！人事に思ふな！見殺しにするな！起て！諸君よ！諸君の應援如何は此の戦を戰勝さずか惨敗さすかにあるのだ！、諸君は如何なる方法を以つても四貫島工場従業員と連絡を取り、同じ會社の従業員の此の戦を大勝利せしめよ！

全従業員諸君の熱烈なる應援と御援助を乞ふ!!

十月二十一日

大阪市此花區市電四貫島停留所前

東洋紡績四貫島工場争議團
應援日本勞動總同盟